

## プロセスとジョブ

- プロセスはOSが管理し、ジョブはシェルが管理している。したがって、ジョブは起動されたシェル以外からは操作できない。
- ジョブはユーザ側から見たものと言える。
- 基本は1つのジョブが1つのプロセスを発生させるが、後述するパイプを使ったりして複数のプロセスでまとまった仕事をさせることがある。

49

## ジョブのリスト

- jobs コマンド

50

## フォアグラウンドとバックグラウンド

- フォアグラウンド --- シェルがコマンドが終了するまでプロンプトを出さずに待つ
- バックグラウンド --- シェルがコマンドの終了を待たずに次のコマンドを受け付ける

51

- コマンドをバックグラウンドとして実行するには最後に&を付ける
- フォアグラウンドをバックグラウンドにするには
  1. C-zを入力し、実行停止状態にする
  2. bg を入力する。バックグラウンドで実行が再開される

52

- バックグラウンドをフォアグラウンドにするには、fgと入力する

( 複数のバックグラウンドジョブがあるときは、fg 1 または fg %1 などとジョブ番号を指定する )

53

## ジョブの強制終了

- フォアグラウンドジョブを強制終了するには C-c
- バックグラウンドジョブを強制終了するには、jobsコマンドでジョブ番号を調べ kill %1 などとする (kill 1 は不可)。

54